Vestax

Professional Mixing Controller

PMC-250

取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013
Web:www.vestax.jp
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PMC-250 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告　この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

分解禁止

電源指を挟まれないよう注意抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警　告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

● 各プログラムチャンネル（PGM1,PGM2）にPHONO1系統、LINE2系統、AUX入力にはPHONO 1 系統、LINE 1 系統、またMIC入力を１系統装備しました。
● 各プログラムチャンネルは、3バンドISOLATOR（ロータリーヴォリュームタイプ、フェーダータイプ）を装備。HI、MID、LOWの3帯域を自由にコントロールしながら効果的なミックスが可能です。また、トリムコントロールを装備しているので、細かい入力レベル設定が可能です。
● 19inch　3Uサイズのコンパクトな筐体設計により、DJセットを組む際の設置スペースの縮小を実現しました。
● 入出力端子パネルは本体の上面または底面へ取付け個所を変更できますので、平置き単体で使用するか、ラックまたはケースに入れて使用するなど自由度のあるDJセットの設置が可能です。
● 各プログラムチャンネルのインプットフェーダーはデタッチャブル方式になっており、別売のロータリーフェーダーユニットに交換することができます。
● 長年の経験とデータにより作られたクロスフェーダー、インプットフェーダーは、過酷なスクラッチにも耐える耐久度とカーブを持っています。もちろん、今や世界中のミキサーメーカーが採用しているベスタクス・デタッチャブル・フェーダーシステムによりメンテナンスも容易です。

ご使用上の注意

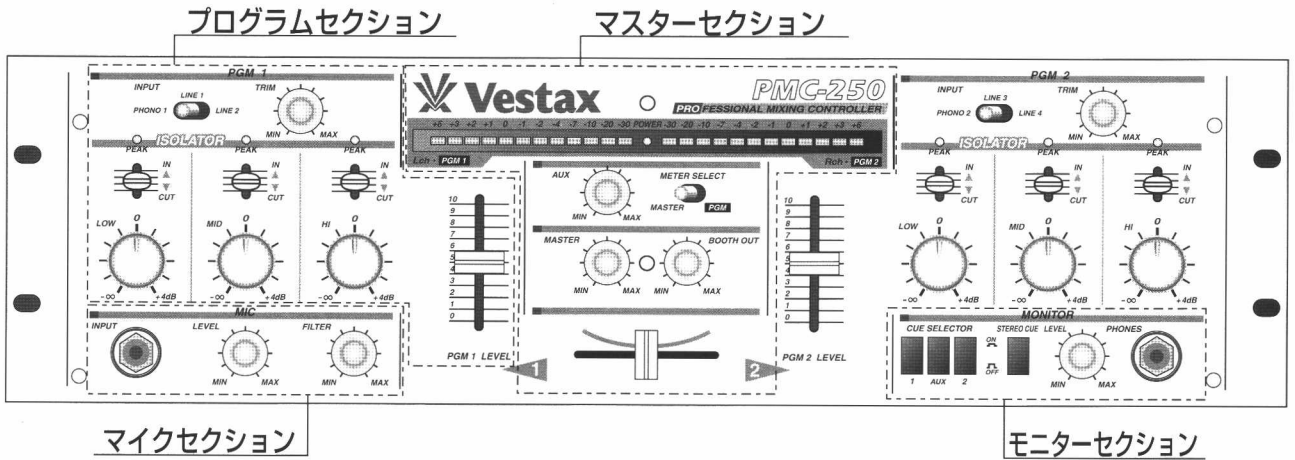
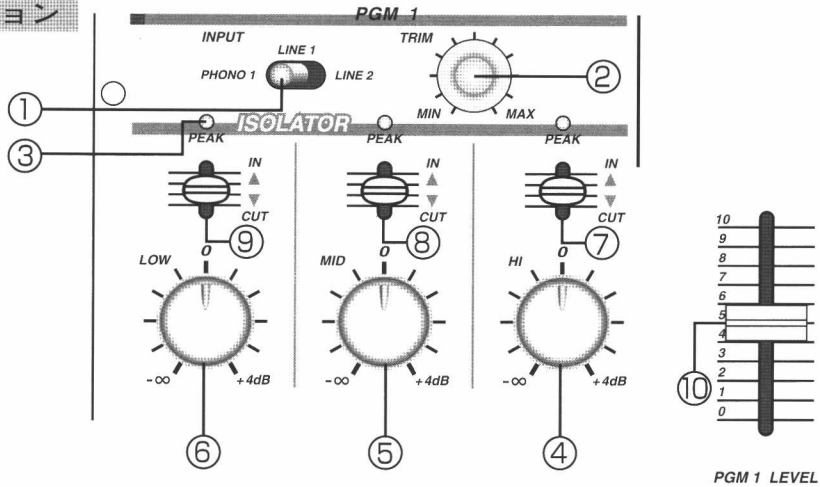
電源について
● 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
● 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について
● この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスをもつ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
● テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて
● 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れをふき取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
● 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないで下さい。

修理について
● お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また修理をお断りする場合がございます。
● 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの店または、当社商品の取り扱い店にご相談ください。

その他の注意について
● 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
● ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためプラグを持って行ってください。
● 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。
● 輸送や引越しの際は、この機器がはいっていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。

各部の名称と機能

プログラムセクション

① INPUT（入力ソースセレクトスイッチ）
各プログラムの入力をPHONO1系統、LINE2系統から設定します。

② TRIM（入力レベル調整ボリューム）
各プログラムの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを目盛7～8の位置にセットして、レベルメーターが0dB位まで振れるようにセットして下さい。
（⑬ MASTER SELECT を” PGM” 側に選択時）

③ PEAK（レベル表示LED）
HI、MID、LOW各帯域の入力レベルを表示します。

④ HI（高音域帯ボリューム）
高音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左回しで音量が小さくなり、右回しで音量が大きくなり、12時の位置がバイパスと同じ音量となります。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするときに使用します。

⑤ MID（中音域帯ボリューム）
中音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左回しで音量が小さくなり、右回しで音量が大きくなり、12時の位置がバイパスと同じ音量となります。ボーカルソースやメロディソースだけをカットして、リズムソースだけを使う時に使用します。

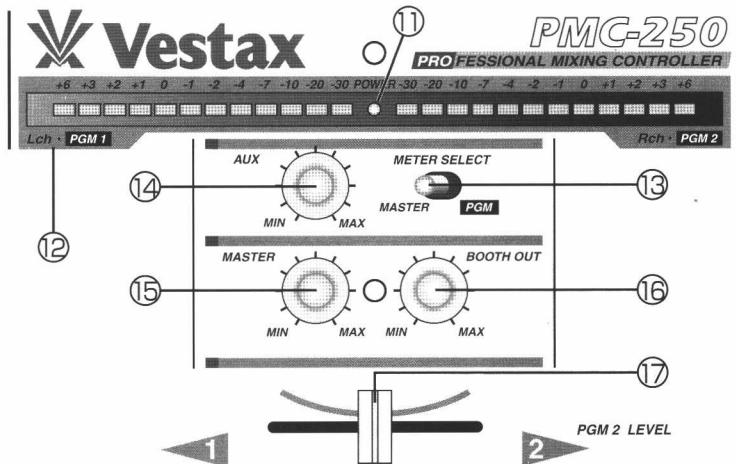
⑥ LOW（低音域帯ボリューム）
低音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左回しで音量が小さくなり、右回しで音量が大きくなり、12時の位置がバイパスと同じ音量となります。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出す時に使用します。

⑦ HI CUT（高音域フェーダーカットスイッチ）
④の高音域帯ボリュームの周波数帯をカットするフェーダースイッチです。このフェーダースイッチを下に移動することにより④のボリュームを最小にした状態と同じ効果が得られます。

⑧ MID CUT（中音域帯フェーダーカットスイッチ）
⑤の中音域帯ボリュームの周波数帯をカットするフェーダースイッチです。このフェーダースイッチを下に移動することにより⑤のボリュームを最小にした状態と同じ効果が得られます。

⑨ LOW CUT（低音域帯フェーダーカットスイッチ）
⑥の低音域帯ボリュームの周波数帯をカットするフェーダースイッチです。このフェーダースイッチを下に移動することにより⑥のヴォリュームを最小にした状態と同じ効果が得られます。

⑩ INPUT FADER（インプットフェーダー）
各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいインプットフェーダーユニット、"IF-250"に交換して下さい。

マスターセクション

⑪ **POWER インジケーター**
電源を入れるとこのLEDが点灯します。

⑫ **LEDレベルメーター**
LEDバーグラフにより、L、RcHから出力される信号レベルまたは各PGMの入力レベルを表示します。

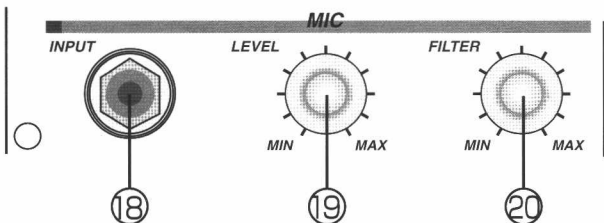
⑬ **METER SELECT**
⑫LEDレベルメーターの表示内容をセレクトするスイッチです。MASTER側にスイッチを設定すると、レベルメーターはマスター出力のL、RcHの信号レベルを表示し、PGM側に設定すると、PGM1、PGM2の入力レベルを表示します。

⑭ **AUX（AUXレベルボリューム）**
リアパネルのAUX INに入力された信号のレベルを調節します。

⑮ **MASTER（マスターレベルボリューム）**
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調節します。

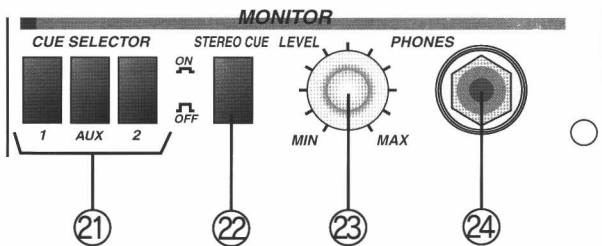
⑯ **BOOTH OUT（ブースアウトレベルボリューム）**
リアパネルのBOOTH OUT端子から出力される信号のレベルを調節します。

⑰ **CROSSFADER（クロスフェーダー）**
左側に移動するに従いPGM1にアサインした音が、右側に移動するに従いPGM2にアサインされた音が、それぞれ出 力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、交換用クロスフェーダーユニット、"CF-PCV"と交換して下さい。（なお、交換は7ページ”フェーダーユニットの交換”をご参照下さい。）

マイクセクション

⑱ **MIC INPUT（MICインプットジャック）**
マイクの入力端子です。

⑲ **MIC LEVEL（マイクレベルボリューム）**
⑱に接続したマイクのレベルを調節します。

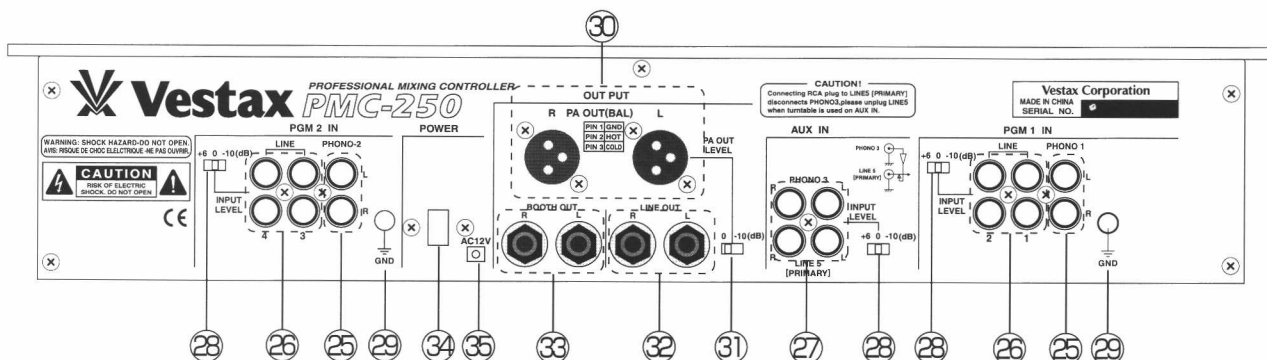
⑳ **MIC FILTER（マイクフィルターボリューム）**
マイクの入力信号の低音成分をカットするレベルを調整するボリュームです。ブレス音によるスピーカーへの悪影響が生じた時などにご使用下さい。

モニターセクション

㉑ **CUE SELECTOR（キュー・モニターセレクトスイッチ）**
ヘッドホンでモニターするソースをセレクトするスイッチです。

㉒ **STEREO CUE（ステレオ・キューON/OFFスイッチ）**
ヘッドホンのモニター方式を切り替えるスイッチです。スイッチONのとき、ステレオ・キュー方式となり、㉑CUE SELECTORで選んだソースをヘッドホン両耳でモニターすることができます。スイッチOFFのときはスプリット・キュー方式となり、ヘッドホンのLcHで㉑CUE SELECTORで選んだソースがモニターでき、RcHでは常にマスター出力をモニターすることができます。

㉓ **PHONES LEVEL（ヘッドフォンレベル）**
ヘッドフォンジャックに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。

㉔ **PHONES（ヘッドフォンジャック）**
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

リアパネルセクション

㉕ PHONO 1,2（フォノ入力端子）［RCA PIN JACK］
ターンテーブル用入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続してください。なおMCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要です。

㉖ LINE 1,2,3,4（ライン入力端子）［RCA PIN JACK］
ラインレベル機器の入力端子です。　CDプレイヤー、MDプレイヤー、テープデッキ、DAT、VTR音声出力などを接続して下さい。

㉗ AUX IN（補助入力端子）［RCA PIN JACK］
LINE5にはCD、MD、DAT等のラインレベル機器をPHONO3にはターンテーブルを接続して下さい。

注　意

LINE5とPHONO3に同時にケーブルが接続された状態では、PHONO3に入力される信号は内部スイッチにより自動的に切断され、LINE5に入力される信号が優先的に出力されます。

㉘ INPUT LEVEL（入力レベル切替スイッチ）［+6/0/-10dB］
本機の入力レベルを調整する切替スイッチです。接続する機器の出力レベルに応じてレベルを切り替えます。通常は-10dBに設定してください。CD、MDプレーヤー等の出力レベルの高いもの、または、高出力のカートリッジ等をご使用の際には、0または+6dBに設定してください。

㉙ GND（グランドターミナル）
ターンテーブルのアースコードを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

㉚ PA OUT（バランス出力端子）［XLR MALE, 2 PIN HOT］
マスター出力のバランス出力端子です。　バランス入力を装備したパワーアンプ等の機器に接続して下さい。
ピン配置は
PIN 1→GND・PIN 2→HOT・ PIN 3→COLD です。

㉛ PA OUT LEVEL（バランス出力レベルセレクトスイッチ）［−10dB／0dB］
バランス出力の出力レベルを−10dBか0dBに切り替えるスイッチです。

㉜ LINE OUT（アンバランス出力端子）［1/4" PHONE JACK］
マスター出力のアンバランス出力端子です。パワーアンプ、プリメインアンプ等の入力端子に接続してください。

注　意

お手持ちのアンプにPHONO入力端子が付いている場合は、本機のLINE OUTをアンプのPHONO入力端子に接続しないでください。PHONO入力端子にはPHONOアンプが内蔵されておりますので、音が割れたり、歪んだりしますのでご注意下さい。

㉝ BOOTH OUT（ブースモニター用出力端子）［1/4" PHONE JACK］
DJブース内のモニター用出力端子として使用して下さい。また、出力される信号はPA OUT、LINE OUTと同じですので、3番目の出力端子としても使用できます。

㉞ POWER（パワースイッチ）
電源オン／オフスイッチです。オンのときにマスターアウトレベルメーター中央にあるLED（⑪）が点灯します。このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。

㉟ ACインプットジャック
付属のACアダプター（AC-12A）を接続してください。

フェーダーユニットの交換

⊕Driver

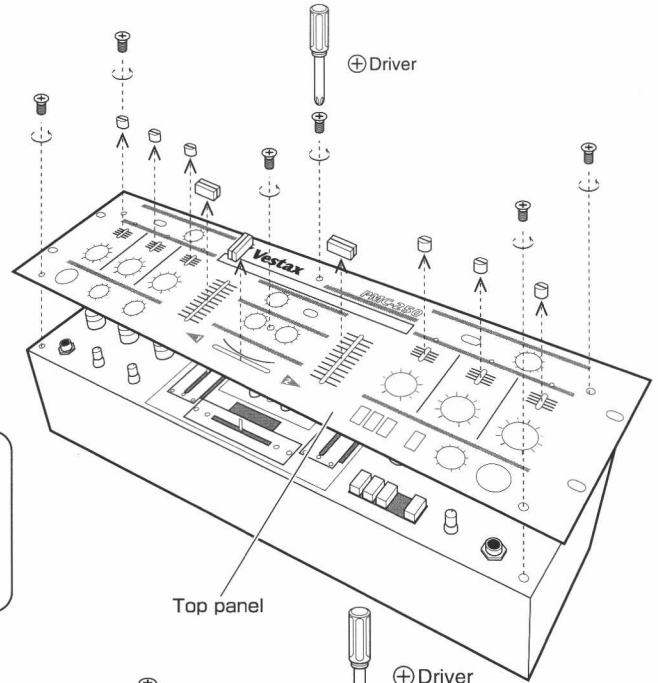
Top panel

■トップパネルの外し方

① 右図のように、スライドフェーダーツマミ（大：3個、小：6個）を取り外します。

② トップパネルを固定している6点のネジを、図のようにプラスドライバーを使用し、取り外します。

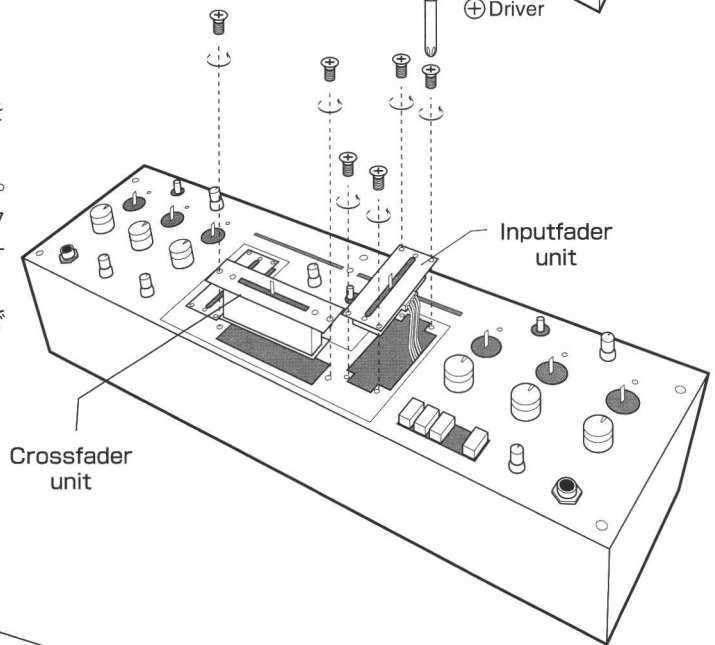
注　意

フェーダーユニット交換の際に、✕印の部分のネジを緩めないで下さい。ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用ください。

■フェーダーユニットの交換

① フェーダーパネルと本体を固定しているネジを外します。

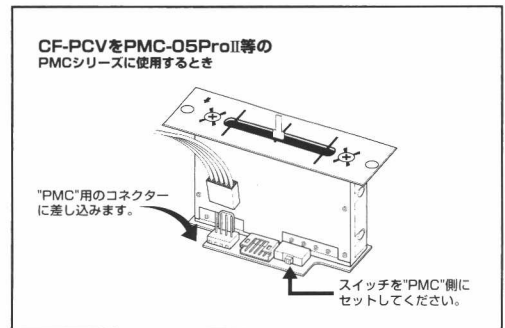
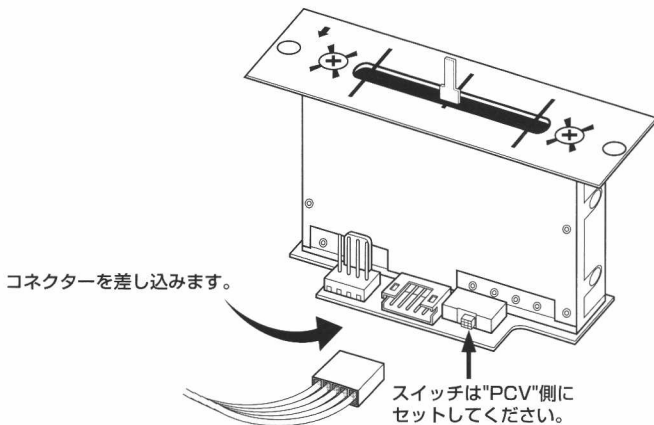
② フェーダーユニットごと上へ持ち上げてください。

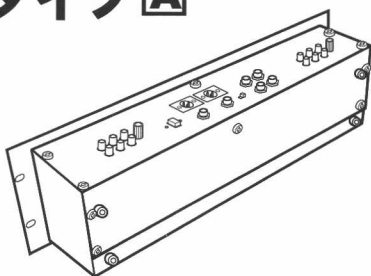
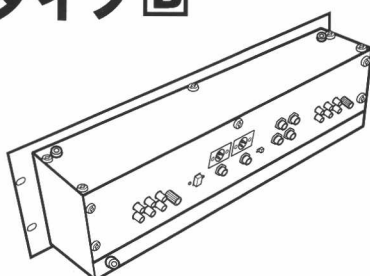
③ フェーダーユニットと本体を接続しているコネクターを取り外して下さい。（この際に、コネクターのピンを曲げないように注意してください。）

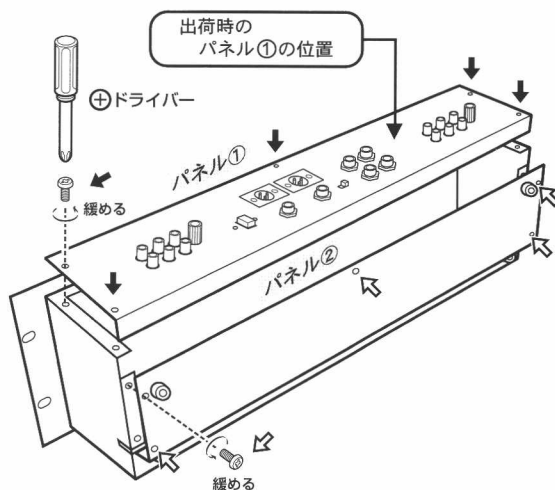
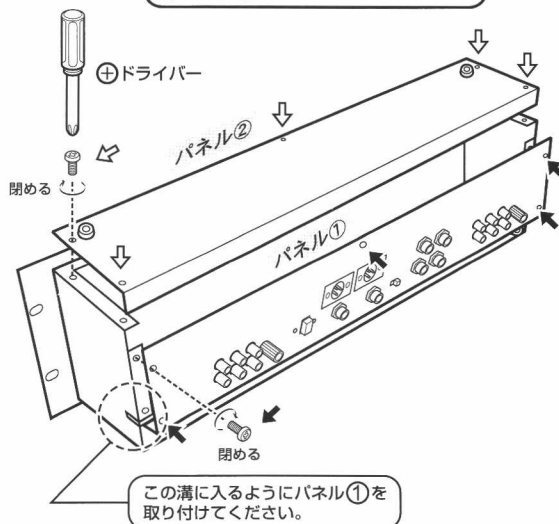
④ 新しいユニットと交換し、③→②→① の手順で元に戻して下さい。

※クロスフェーダー取り付け時のご注意

CF-PCVをPMC-05ProⅡ等のPMCシリーズに使用するとき

"PMC"用のコネクターに差し込みます。

スイッチを"PMC"側にセットしてください。

入出力ジャックパネルの組換え

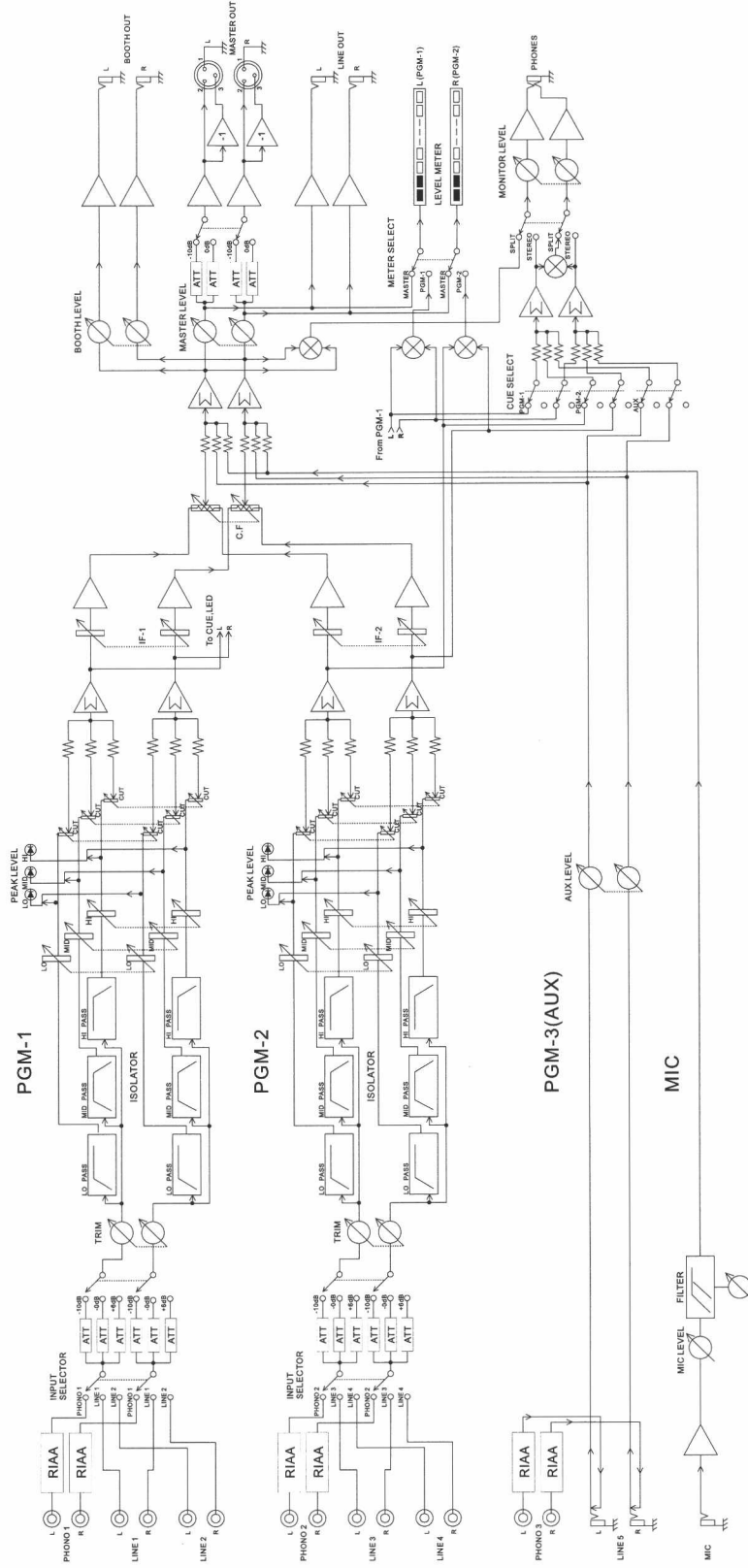
PMC-250は入出力ジャックの位置を下図のようにタイプⒶ、タイプⒷの2通り設定できます。

製品出荷時にはタイプⒶに設定されています。タイプⒷに変更する場合は以下の手順で行って下さい。

- ●パネル①を固定している銀色の5点のネジ(⬇の位置)を⊕ドライバーで外します。
- ●パネル②を固定している銀色の5点のネジ(⇩の位置)⊕ドライバーで外します。ネジを外しましたら、パネル②を本体から取り去ってください。

注　意

ビスを⊕ドライバーで外すときはビスの⊕穴の形状と同じタイプの⊕ドライバーを必ず使用して下さい。また、ドライバーは垂直に立て、適度な力を加えて、接触部が滑らないように静かに回し始めて下さい。接触部分を滑らせて、ビスの⊕穴の形状を変化させてしまうと、取り外しができなくなることがありますのでご注意下さい。

- ●パネル①をタイプⒷの位置へ移動し、パネル①の折り曲げ部分を本体の溝に入るように配置します。
- ●一旦取り去ったパネル②をタイプⒷの位置に取付け、先に外した銀色のビスでパネル①、②を⊕ドライバーで固定して下さい。
- ●入出力パネルをタイプⒶへ戻すときは、今と同じ要領で行って下さい。

ブロックダイヤグラム

PMC-250 BLOCK DIAGRAM

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーの AUX IN または LINE IN に接続していませんか。	目的のソースがどこに接続されているか確認し、入力ソースセレクトスイッチの設定をやり直す。
	各機器の接続が間違っていませんか。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ボリュームや、各音量ボリューム調整が MIN になっていませんか。	各音量ボリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレイヤーの出力ケーブルを PMC-250 本体の LINE INUPT に接続していませんか。	PMC-250 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレーヤーのカートリッジに、MC タイプを使用していませんか。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PMC-250 の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続していませんか。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベル高い CD、MD プレーヤー等を接続していませんか。	PMC-250 の TRIM ボリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音（ハム音またはバス音）がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイーヤーのアース線がはずれていませんか。	アース線を PMC-250 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗していませんか。	新品のクロスフェーダーに交換する。（別売の交換用クルスフェーダーユニット CF-PCV をご購入ください。）

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

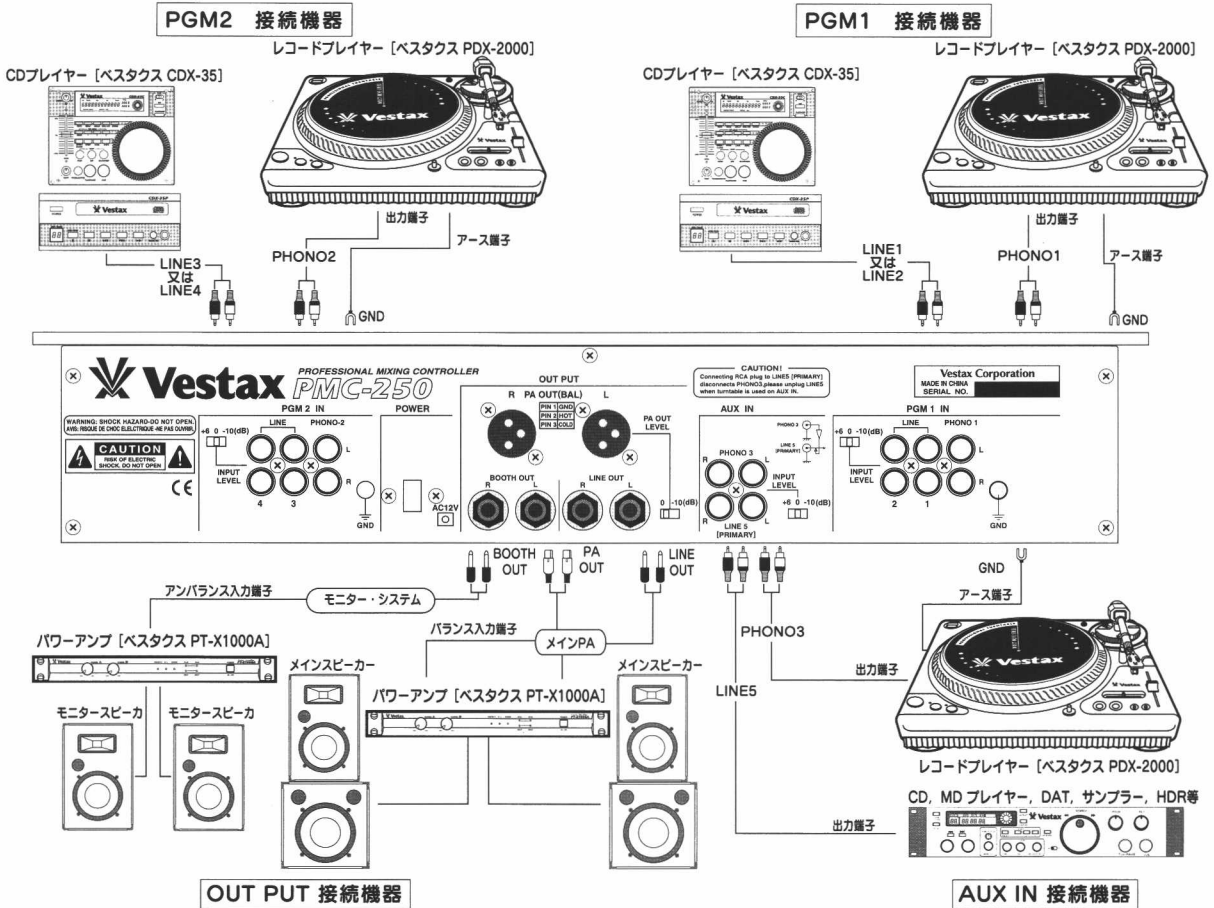
保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎（　　）　　−

接続例

主な仕様

			NOMINAL INPUT LEVEL	MAXIMUM INPUT LEVEL	IMPEDANCE
INPUT SECTION	MIC (1/4' PHONE JACK)		-50dBv	-20dBv	3.3kΩ
	PHONO 1～3L/R (RCA PIN JACK)		-42dBv	-22dB v	22kΩ
	LINE 1～5L/R (RCA PIN JACK)		-10/0/+6dBv	+20dBv	22kΩ
			RATED OUTPUT	MAXIMUM OUTPUT	IMPEDANCE
OUTPUT SECTION	PA OUT L/R (XLR MALE 2PIN HOT,BALANCE)		0dBv,-10dBv	+19dBv	600Ω OVER
	LINE L/R (1/4' PHONE JACK,UNBALANCE)		-10dBv	+10dBv	2kΩ OVER
	BOOTH OUT L/R (1/4" PHONE OUT)		-10dBv	+14dBv	600Ω OVER
	HEAD PHONE (1/4" PHONE JACK)			130mW	8Ω OVER/47Ω
FREQUENCY RESPONSE	MIC	30Hz ～ 20kHz ±3dB	CROSSFADER CROSSTALK		＞100dB
	LINE	20Hz ～ 20kHz ±1dB	CHANNEL CROSSTALK		＞65dB
S/N RATIO	MIC	>60dB	POWER SUPPLY		AC12V ADAPTOR
	LINE	>75dB	DIMENSIONS (W×H×D)		482×138×112
FADER ATTENUATION		>70dB	WEIGHT		4kg

Vestax Corporation

Sep.01 PMC250 J1
P/N: 4301-4155-0